



アカデミック版

操作説明書

Software Version 2.0.1

目次

1.	まずはじめに	4
1.1.	システムご利用の前に ー重要なお知らせー	4
1.2.	動作環境	5
2.	ソフトウェアの起動	5
3.	ソフトウェアの終了	5
4.	画像の表示	6
5.	画面の構成	8
5.1.	リストの構造	9
5.2.	リストの機能	9
6.	表示画像の操作	10
6.1.	マウスによる操作	10
6.2.	機能アイコンによる操作	11
6.3.	表示サイズの切替え	13
6.4.	マルチイメージ表示	14
6.5.	比較表示	15
6.5.1.	同一 Study 内の Series を比較する場合	16
6.5.2.	異なる Study に属する Series を比較する場合	17
6.5.3.	比較表示の機能	18
7.	CT 画像の機能	19
7.1.	フレームの名称	19
7.1.1.	フレームの切替え機能	20
7.2.	フレーム間の連動機能	20
7.3.	レイサムハンドル機能	22
7.4.	位置同期機能	23
8.	超音波画像の画像調整機能	23
9.	MR 画像のリファレンスライン	24
10.	レポート機能	25
10.1.	レポートの作成と保存	25
10.2.	パレットの機能	26
10.3.	レポートの編集	27
11.	プリント機能	28
11.1.	印刷の設定	29
11.2.	プリント画面の機能	29
12.	データ管理	30
12.1.	画像データの登録	30
12.2.	画像データの削除	30
12.3.	表示の匿名化	31


13.	システム情報の確認／編集／プリント	32
13. 1.	ソフトウェア情報の確認	32
13. 2.	最新のログを確認／プリントする	32
14.	設定変更	33
14. 1.	Window 値のプリセット変更	33
14. 2.	その他の設定変更	33


1. まずはじめに


システムをご使用になる前に、以下の事項を必ずご確認ください。

1.1. システムご利用の前に — 重要なお知らせ —

- 本書、及び、本システムの著作権は株式会社スペック・システムが保有しています。複製や改造などの行為は固くお断りします。
- 本システムを安全に取り扱う為に、操作者は汎用情報機器の知識を必要とします。
- 本システムは汎用情報機器であり、医療機器ではありません。
- 本システムの使用により被った損害について、当社は一切の責任を負いかねます。

 データの取り扱いについて
<p>ハードウェア、或いはソフトウェアの故障により、登録途中のデータの破損、変換不良等のトラブルが発生する可能性があります。データの損失について、弊社では一切の責任を負いません。</p>

 サポート対象データについて
<p>サポート対象外のデータは登録、及び、読み込みができません。本システムは全てのDICOM画像データに対して動作を保証するものではありません。</p>

 異常時の対応
<p>本システムの使用中に異常を感じた場合は、速やかに使用を中止してください。</p> <p>本システムの異常により失ったデータ及びその他の損害について、弊社では一切の責任を負いません。</p>

- 本システムに関するご質問、点検、その他事項は弊社サービス窓口までご連絡ください。

<p>株式会社 スペック・システム サービス窓口</p> <p>電話： 044-750-0151（代表）</p> <p>平日 10：00～17：00</p>
--

1.2. 動作環境

本システムは、以下のハードウェア環境での、動作を推奨しております。

OS	Windows 7 / 8 / 8.1 (Windows 7 推奨)
RAM	64bit 版 : 4GB (8GB 以上推奨)
	32bit 版 : 2GB (4GB 以上推奨)
ハードウェア	250GB (50GB 以上の空き)

※Windows 8 / 8.1 OS においては、一部動作のみ確認済みです。全ての動作を保証するものではありません。

※Windows Vista 以前の OS はサポート対象外です。

2. ソフトウェアの起動

インストール後、デスクトップに作成された「FiloVX アカデミック版」アイコンをダブルクリックし、ソフトウェアを起動します。



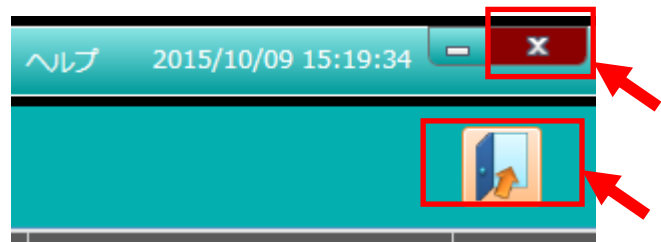
または、Windows の「スタートメニュー」→「すべてのプログラム」に登録されている「FiloVX アカデミック版」アイコンをクリックし、ソフトウェアを起動します。

3. ソフトウェアの終了



終了前には、画像データの登録が終了していることを確認してください。

右上にある「終了」ボタン又は、Close ボタンをクリックします。



表示されたメッセージボックスに従い、ソフトウェアを終了します。

4. 画像の表示



ソフトウェアのデータベースに画像が登録されている必要があります。
登録データがない場合は、[画像データを登録する](#)から画像データを登録してください。

- ① Patient リストから表示対象の Patient を選択します。左側のパネル下に配下の Study が、右側のパネル上に配下の Series リストが表示されます。

患者ID	患者名	性別	検査日時	検査数	ステータス
10001	Sample Animal1	M	2011/05/27 09:43:29	1	
10003	Sample Animal3	F	2012/07/24 11:20:56	1	
10004	Sample Animal4	M	2012/08/28 10:11:16	1	
10005	Sample Animal5	M	2014/04/18 10:16:27	1	
10006	Sample Patient6	F	2012/04/12 18:01:09	1	

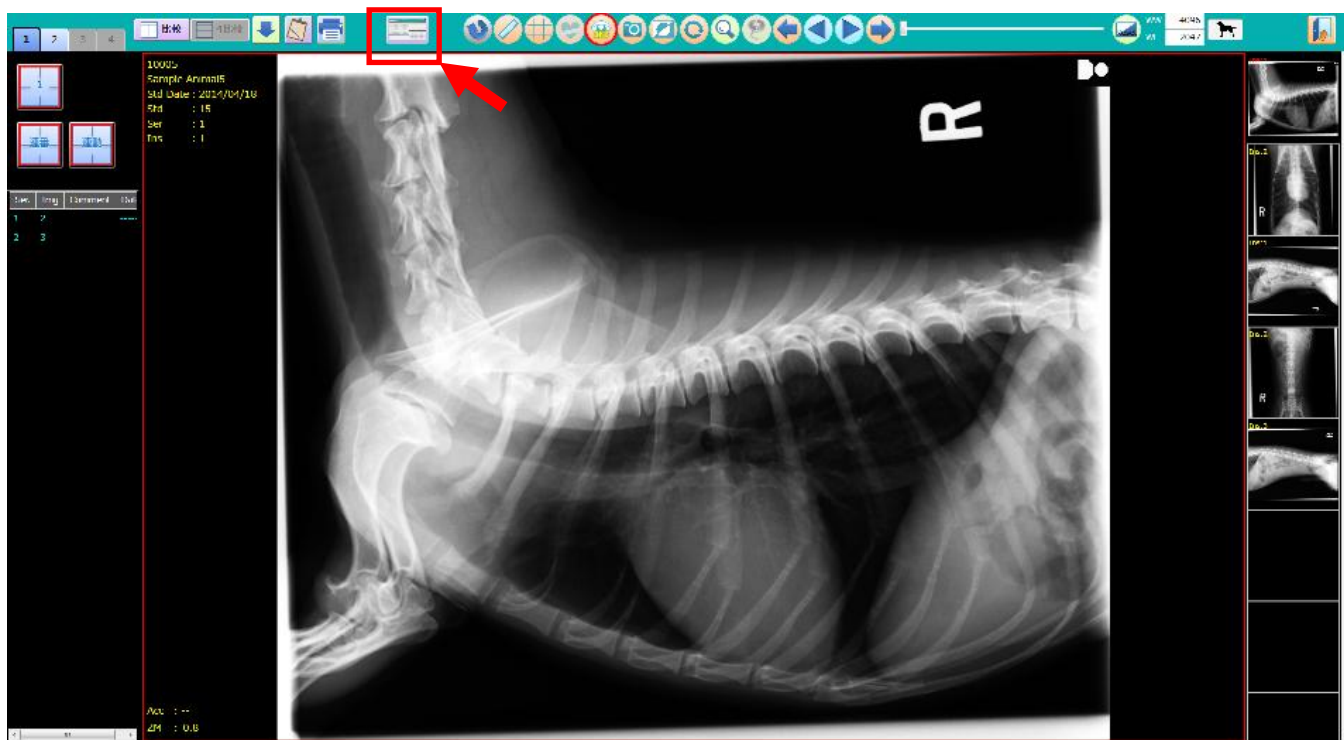
シリーズ番号	部位/体位	方向	イメージ数	コメント	作成日時
1	LWF		10		14/12/18
2	LWF		10		14/12/18
5	PWF		15		14/12/18
6	PWF		15		14/12/18
7	PWF		15		14/12/18
8	LWP		10		14/12/18
9	LWP		10		14/12/18
10	LWP		10		14/12/18
11	LWP		20		14/12/18
12	LWP		20		14/12/18
13	LWP		20		14/12/18
14	PWF		15		14/12/18
15	LWP		10		14/12/18

イメージ番号	スライス位置	スライス厚	管電圧	管電流・秒	フレーム数	作成日時
1	34.0	12.0	-	-	-	-----
2	17.0	12.0	-	-	-	-----
3	0.0	12.0	-	-	-	-----
4	17.0	12.0	-	-	-	-----
5	34.0	12.0	-	-	-	-----
6	34.0	12.0	-	-	-	-----
7	17.0	12.0	-	-	-	-----
8	0.0	12.0	-	-	-	-----
9	17.0	12.0	-	-	-	-----
10	34.0	12.0	-	-	-	-----

- ② リストから、表示対象の Study をクリックします。
③ リストから、表示対象の Series をダブルクリックします。

※①、②のリストから、表示対象の Patient または Study をダブルクリックすると先頭の Series が表示されます。

【画像表示例】



- ④ 赤枠のボタンをクリックすると、リスト表示画面に戻ります。

5. 画面の構成

画面構成、及び、表示情報については以下の通りです。

タイトルバー

コマンドパネル

患者ID	患者名	性別	検査日時	検査数	ステータス
10001	Sample Animal1	M	2011/05/27 09:43:29	1	
10003	Sample Animal3	F	2012/07/24 11:20:56	1	
10004	Sample Animal4	M	2012/08/28 10:11:16	1	
10005	Sample Animal5	M	2014/04/18 10:16:27	1	
10006	Sample Patient6	F	2012/04/12 18:01:09	1	

リストパネル

シリーズ番号	部位/体位	方向	イメージ数	コメント	作成日時
1	LWF		10		14/12/18
2	LWF		1		14/12/18
5	PWF		15		14/12/18
6	PWF		15		14/12/18
7	PWF		15		14/12/18
8	LWP		10		14/12/18
9	LWP		10		14/12/18
10	LWP		10		14/12/18
11	LWP		20		14/12/18
12	LWP		20		14/12/18
13	LWP		20		14/12/18
14	PWF		15		14/12/18
15	LWP		10		14/12/18

イメージ番号	スライス位置	スライス厚	管電圧	管電流・秒	フレーム数	作成日時
1	34.0	12.0	-	-	-	-----
2	17.0	12.0	-	-	-	-----
3	0.0	12.0	-	-	-	-----
4	17.0	12.0	-	-	-	-----
5	34.0	12.0	-	-	-	-----
6	34.0	12.0	-	-	-	-----
7	17.0	12.0	-	-	-	-----
8	0.0	12.0	-	-	-	-----
9	17.0	12.0	-	-	-	-----
10	34.0	12.0	-	-	-	-----

患者名	モダリティ	受付番号	検査ID	コメント	検査日時	ステータス
Sample Patient6	MR		21		2012/04/12 18:01:09	

リスト名	内容
コマンドパネル	画面の切替え/比較ボタン、及び、プリント、インポート、ソフトウェアの終了ボタンが配置されています。
リストパネル	データベースに登録されている画像データ一覧を表示します。

5.1. リストの構造

リストパネルは下記で構成されます。

患者ID	患者名	性別	検査日時	検査数	ステータス
10001	Sample Animal1	M	2011/05/27 09:43:29	1	
10003	Sample Animal3	F	2012/07/24 11:20:56	1	
10004	Sample Animal4	M	2012/08/28 10:11:16	1	
10005	Sample Animal5	M	2014/04/18 10:16:27	1	
10006	Sample Patient6	F	2012/04/12 18:01:09	1	

Patient リスト

シリーズ番号	部位/体位	方向	イメージ数	コメント	作成日時
1	LWF		10		14/12 18
2	LWF		1		14/12 18
5	PWF		15		14/12 18
6	PWF		15		14/12 18
7	PWF		15		14/12 18
8	LWP		10		14/12 18
9	LWP		10		14/12 18
10	LWP		10		14/12 18
11	LWP		20		14/12 18
12	LWP		20		14/12 18
13	LWP		20		14/12 18
14	PWF		15		14/12 18
15	LWP		10		14/12 18

Series リスト

イメージ番号	スライス位置	スライス厚	管電圧	管電流・秒	フレーム数	作成日時
1	34.0	12.0	-	-	-	-----
2	17.0	12.0	-	-	-	-----
3	0.0	12.0	-	-	-	-----
4	17.0	12.0	-	-	-	-----
5	34.0	12.0	-	-	-	-----
6	34.0	12.0	-	-	-	-----
7	17.0	12.0	-	-	-	-----
8	0.0	12.0	-	-	-	-----
9	17.0	12.0	-	-	-	-----
10	34.0	12.0	-	-	-	-----

Image リスト

患者名	モダリティ	受付番号	検査ID	コメント	検査日時	ステータス
Sample Patient6	MR	21			2012/04/12 18:01:09	

Study リスト

リスト名	内容
Patient リスト	データベースに登録されている全ての Patient 情報が、登録順に表示されます。
Study リスト	Patient リストで選択した Patient 配下のすべての Study 情報がリスト表示されます。
Series リスト	Study リストで選択した Study 配下の全ての Series 情報がリスト表示されます。
Image リスト	Series リストで選択された Series 配下の全ての Image 情報がリスト表示されます。

5.2. リストの機能

リストは、以下の機能を備えています。

機能	手順
サイズ変更	全てのリスト Window は、リストの高さ幅を変更することができます。リスト境界の黒い部分を上下左右にドラッグして高さ幅を変更します。
並べ替え(ソート)	全てのリストは項目ごとに並べ替えができます。リスト項目のタイトルをクリックすると、クリックしたタイトルの項目を指標としてリストを並べ替えます。再度クリックすると昇順／降順が入れ替わります。

6. 表示画像の操作

6.1. マウスによる操作

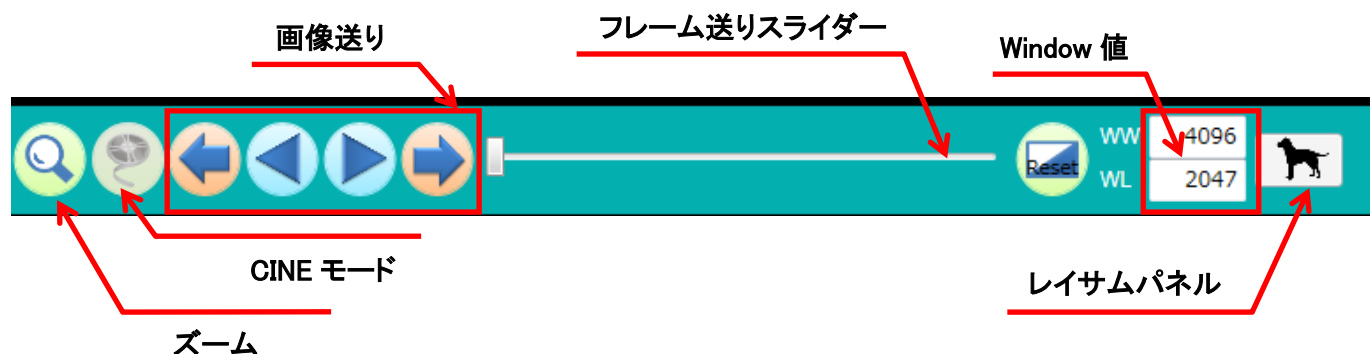
画像表示フレーム上のマウス操作には、以下の機能が割り当てられています。（デフォルト値）

機能名	機能
マウスホイール	画像送り機能（同一 Series 内の画像をコマ送りします。） マルチフレーム：次のフレーム、または、前のフレームへコマ送りします。 シングルフレーム： （単一 Series 読み込みの場合）次の Image、または、前の Image へ変更します。 （複数 Series 読み込みの場合）次の Series、または、前の Series へ変更します。
右ドラッグ	Window 値の変更 左右方向：Window Width 変更 上下方向：Window Level 変更
左ドラッグ	画像表示位置の変更
右＋ホイール	フレーム内の画像表示倍率を変更します。 表示中の倍率はズームボタン上、及び、アノテーションの「ZM:」に表示されます。
左＋ホイール	画像送り（大）機能
左右同時クリック （GT のみ）	クリック点が断面の交点となるよう、Sagittal/Coronal を再描画します。 ※この機能は設定ページでの変更はできません。

※設定ページで、マウス操作に割り当てる機能を変更できます。












6.2. 機能アイコンによる操作

各機能は、選択中のフレームに対して適用されます。表示中のモダリティによって使用可能な機能が異なります。



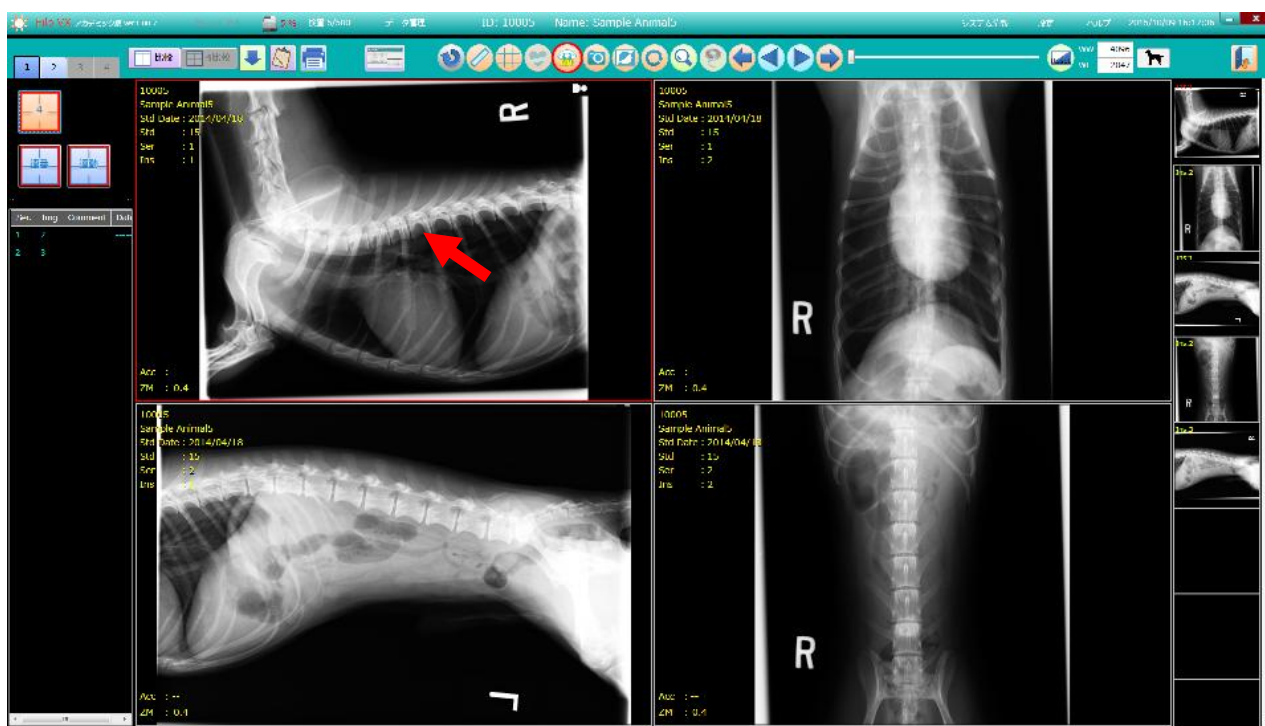
機能名	機能
レイサムパネル	CT 画像表示中のみ有効です。
フレーム送り スライダー	表示中の画像を変更します。フレーム上のマウスホイールと同じ動作をします。
画像送り	スライス位置、または、イメージ番号を増減して画像を再描画します。 ※レイサムフレーム選択時は描画角度を増減し、任意断面画像を再描画します。
	CINE モード実行時 コマ送りの方向を変更します。
画像送り	※複数の画像データが読み込まれている場合のみ使用可能です。 読み込み済みの次 (→) の画像、または、前 (←) の画像を表示します。
CINE モード	フレーム内の画像をコマ送りで描画します。 ① ボタンをクリックするとコマ送りのフレーム速度が表示されます。 ② 速度を選択すると、コマ送りを開始します。 ③ 機能使用中はボタンの輪郭が赤くなります。機能を解除する場合は再度ボタンをクリックしてください。 ※機能使用中に設定ページを開く、データ削除等の操作を行うと、CINE モードは自動で解除されます。
ズーム	フレーム内の画像を拡大、縮小表示します。 ① ボタンをクリックし、倍率を選択します。 ② 表示倍率は、ズームボタン上、及び、フレーム上の「ZM:」に表示されます。 ③ ズーム解除は「ディスプレイノーマル」ボタンで行います。
Window 値	選択中のフレーム Window 値を変更します。 「WIN」ボタンをクリックし、表示されたプリセットから任意の Window 値セットを選択します。 テキストボックスが有効な場合は、直接入力して設定することもできます。その場合は、入力後に Enter キーで確定します。尚、テキストボックスには選択フレームの Window 値が表示されます。



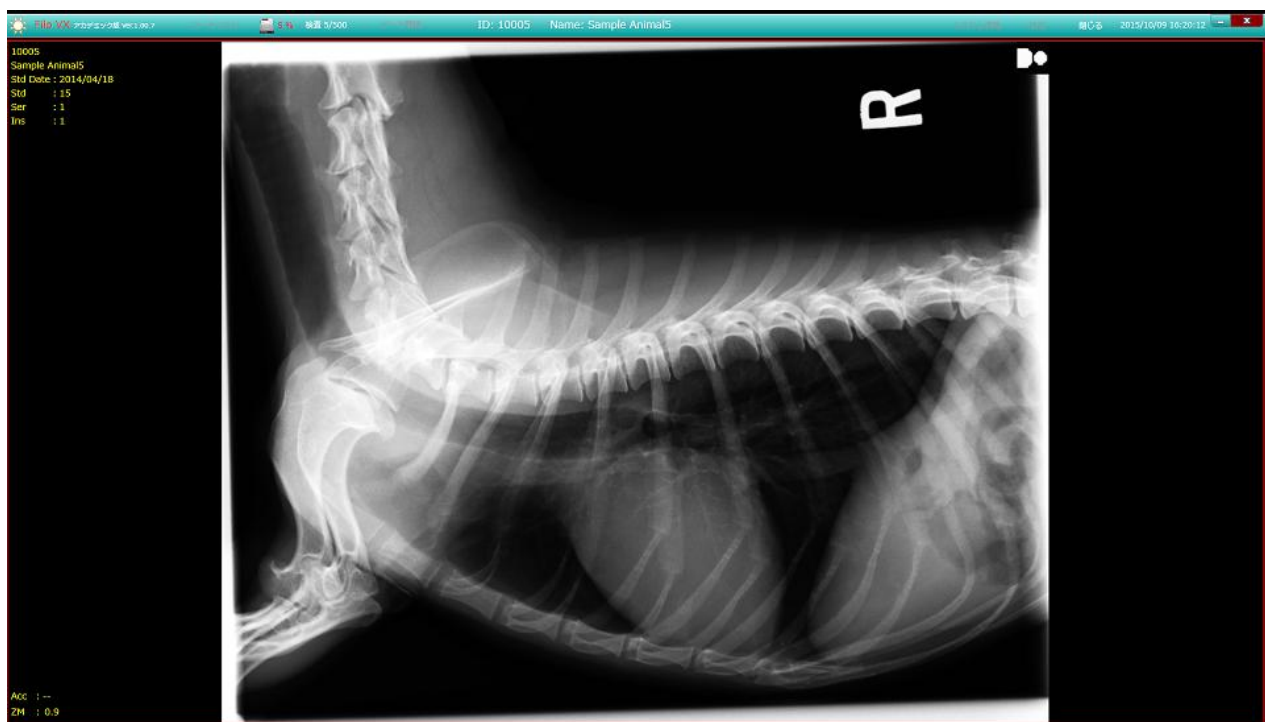
機能名	アイコン	機能
リスト表示		リストパネルを表示します。
画像表示		リスト表示ボタンでリストパネルへ遷移した場合に、元の画像パネルへ戻ります。
定規		計測メニューを表示します。各計測対象および計測範囲は計測後に変更可能です。 2 点間距離：2 点間の距離を計測します。 角度：角度を計測します。 CT 値計測(円)：マウスドラッグで指定した楕円内の CT 値を計測します。 CT 値計測(点)：マウスクリックで指定した点の CT 値を計測します。 CT 値計測(マウスカーソル)：マウスポインタ位置の CT 値をリアルタイム計測します。 削除：計測情報を削除します。個別／フレーム／シリーズから削除単位を選択します。 MRI リファレンス：リファレンスライン表示／リファレンス面表示を切替えます。 非表示／表示：計測情報の表示を ON／OFF します。
グリッド		フレーム内に 5mm 間隔のグリッド線を表示します。機能使用時はボタンの輪郭が赤くなります。機能を解除する場合は再度ボタンをクリックしてください。
エンハンス (CT 表示中のみ)		対象フレームの画像に対して、計算範囲を指定し、MIP、MinIP、Average 画像を描画します。※アカデミック版では無効です。
VHS 計測 (CR, DX 表示中のみ)		心臓の長軸/短軸の長さを指定し、椎骨何個分になるかを計測します。 ※アカデミック版では無効です。
Dicom 情報		全てのフレームの文字情報の表示/非表示を切替えます。
スクリーンショット		表示中の画像をクリップボードにコピーします。
ネガポジ		画像を白黒反転して表示します。 ボタンをクリックする度にネガとポジが切替わります。
回転/反転		表示画像を回転/反転表示します。 表示されたメニューから目的の表示方法を選択してください。
ディスプレイノーマル		選択中のフレーム/全てのフレームの画像移動、及び、拡大/縮小を解除し、初期状態に戻します。Window 値は保持されます。

6.3. 表示サイズの切替え

画像をダブルクリックすると全画面表示で表示されます。再度ダブルクリックすると元の画面に戻ります。



矢印の位置でダブルクリック。

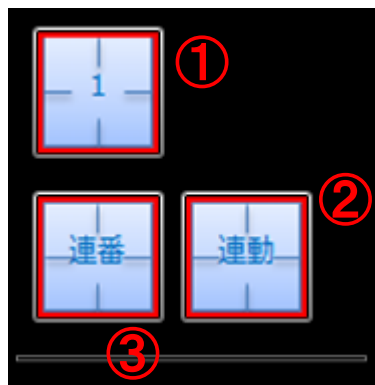


6.4. マルチイメージ表示

画面を複数に分割し、同一 Series 内の画像を表示します。

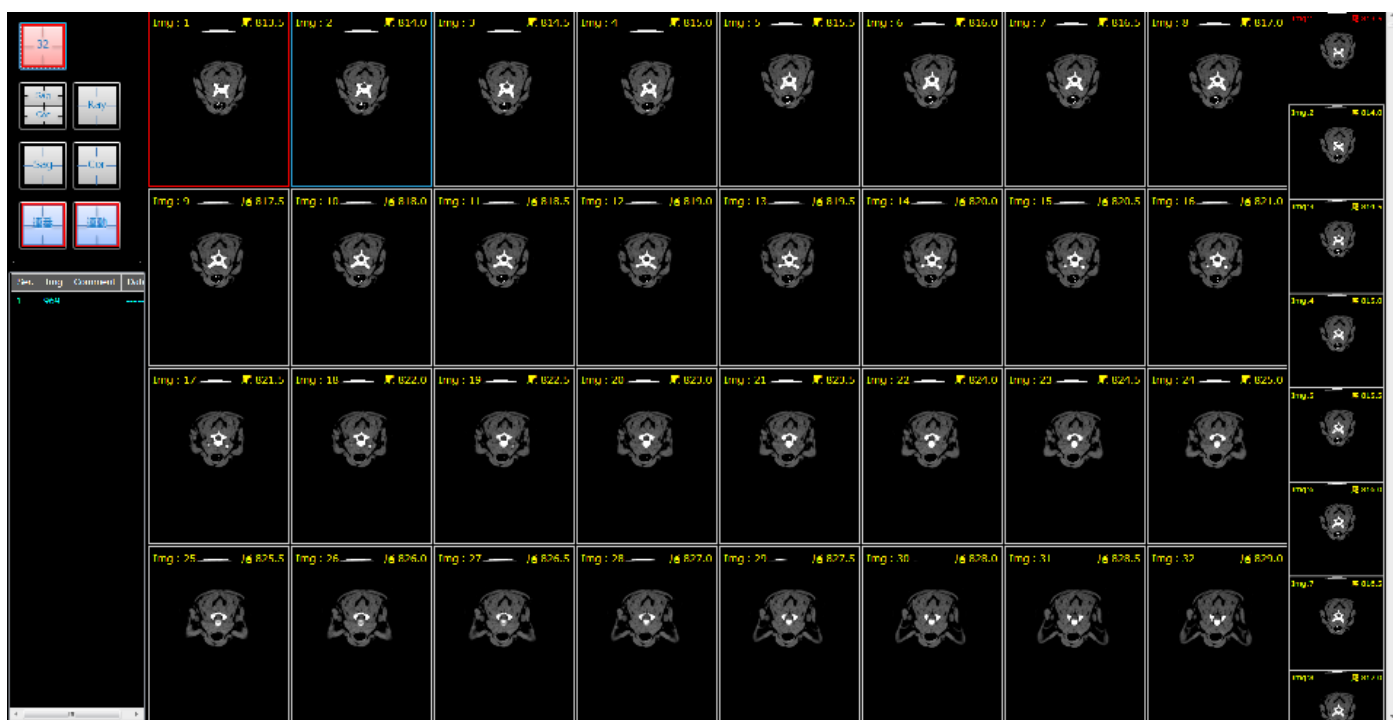
画面左に配置されたマルチイメージ表示メニューボタンの機能は以下の通りです。

尚、ボタンは機能 ON の場合は青色、機能 OFF の場合はグレーで表示されます。



	機能名	機能
①	分割	画面の分割メニューを表示し、選択した分割数に画面を分割します。
②	連番	表示中の画像を、Image 番号の連番で表示します。連番機能を解除すると、フレーム毎に画像送りが可能です。
③	連動	選択中のフレームと連動して、全てのフレームに画像操作が適用されます。連動機能を解除すると、フレーム毎に操作が行えます。

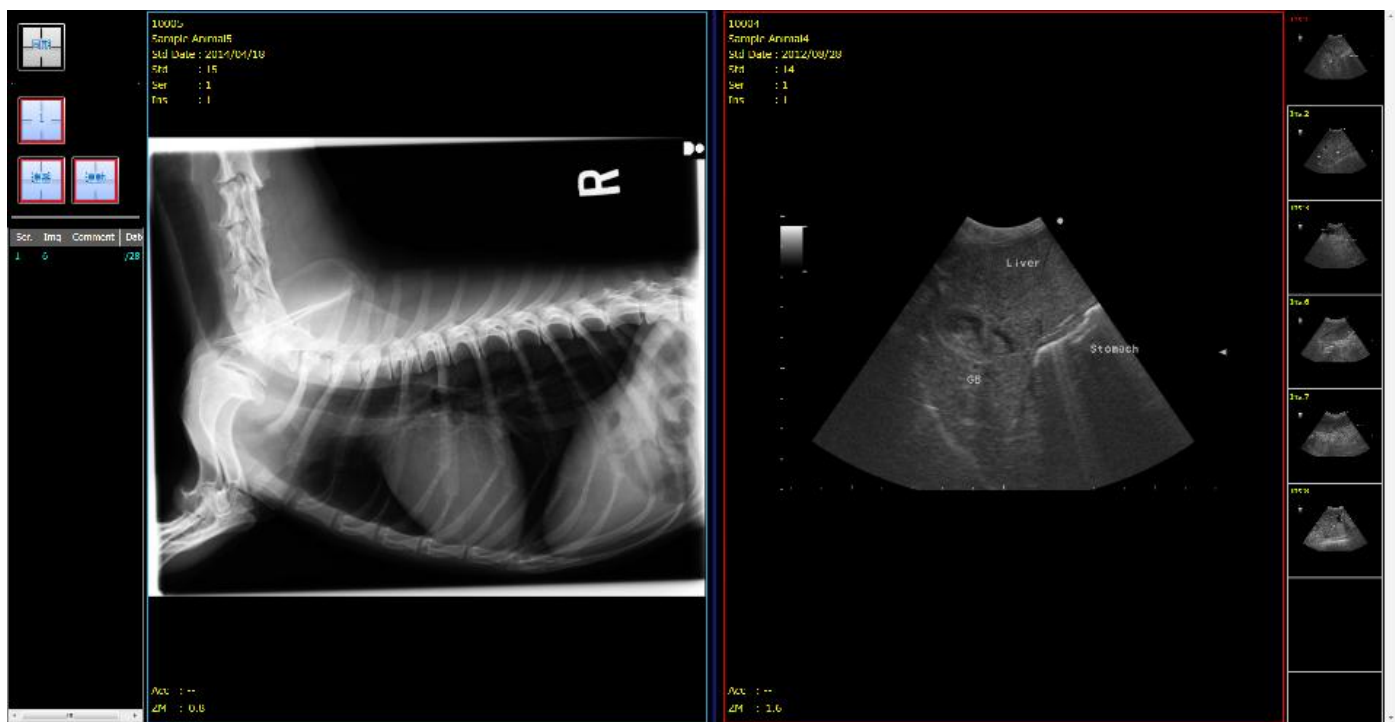
【分割表示例：32 分割表示】



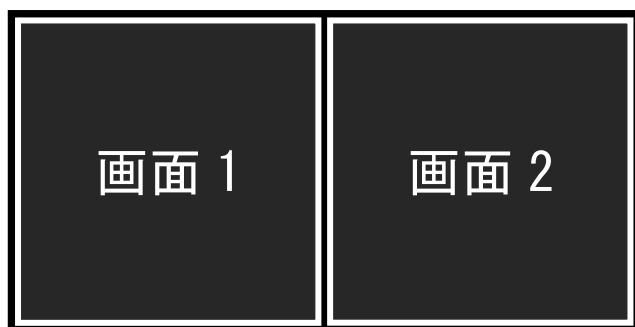
6.5. 比較表示

画像表示画面を分割し、異なる Series を並べて表示します。異なる Study に属する Series を並べて表示することも可能です。

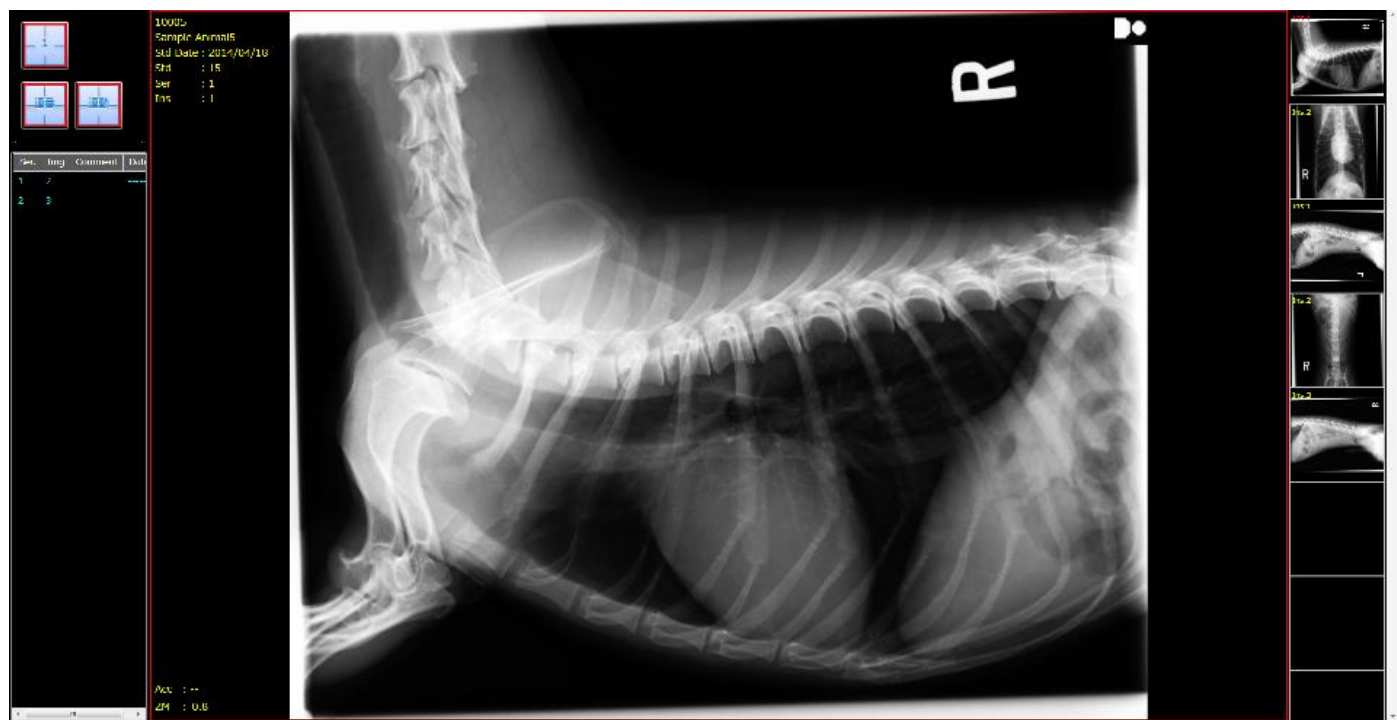
【比較表示の画面例】



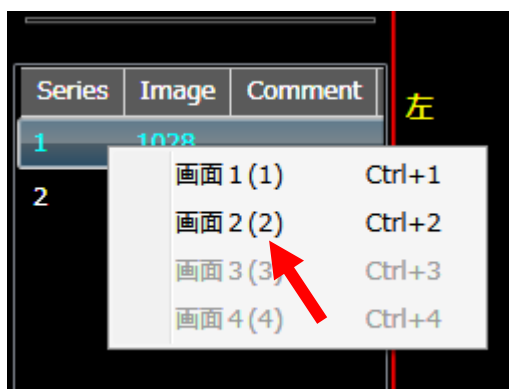
比較の各画面番号は下図の通り割当てられています。



6.5.1. 同一 Study 内の Series を比較する場合



- ① 比較表示を行う Series を表示します。画面左に同一 Study 内の全ての Series がリスト表示されます。
- ② リストから表示したい Series を選択し、右クリックのメニューから、「画面 2」を選択します。

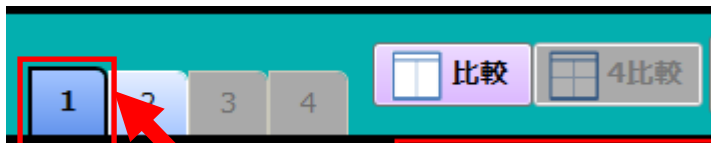


- ③ 「比較」ボタンをクリックします。再度ボタンをクリックすると、ノーマル画面に戻ります。



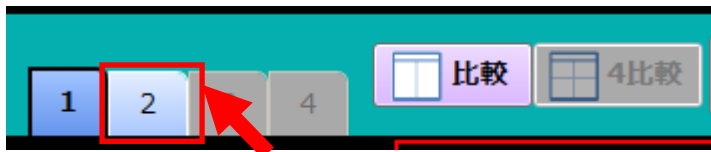
6.5.2. 異なる Study に属する Series を比較する場合

- ① 「1」をクリックし、表示対象画像を読み込みます。画像読み込み手順は[画像表示](#)の手順と同様です。



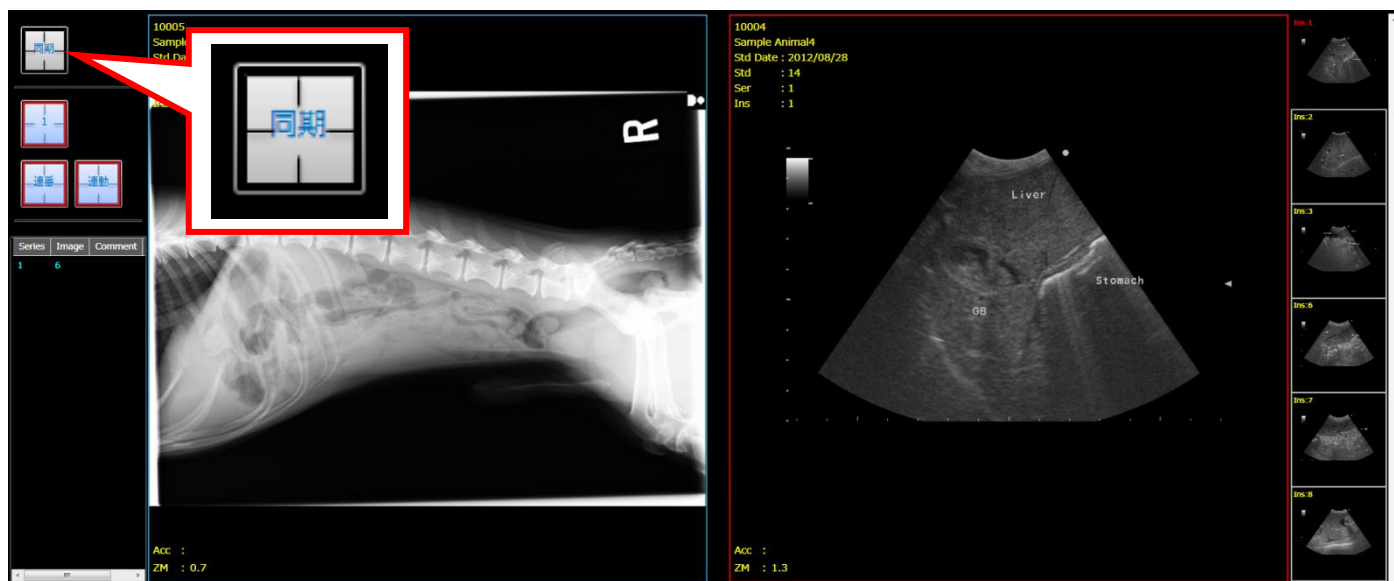
※初期表示は画面 1 です。

- ② 「2」をクリックし、表示対象画像を読み込みます。画像読み込み手順は[画像表示](#)の手順と同様です。



- ③ 「比較」ボタンをクリックします。再度ボタンをクリックすると、ノーマル画面に戻ります。

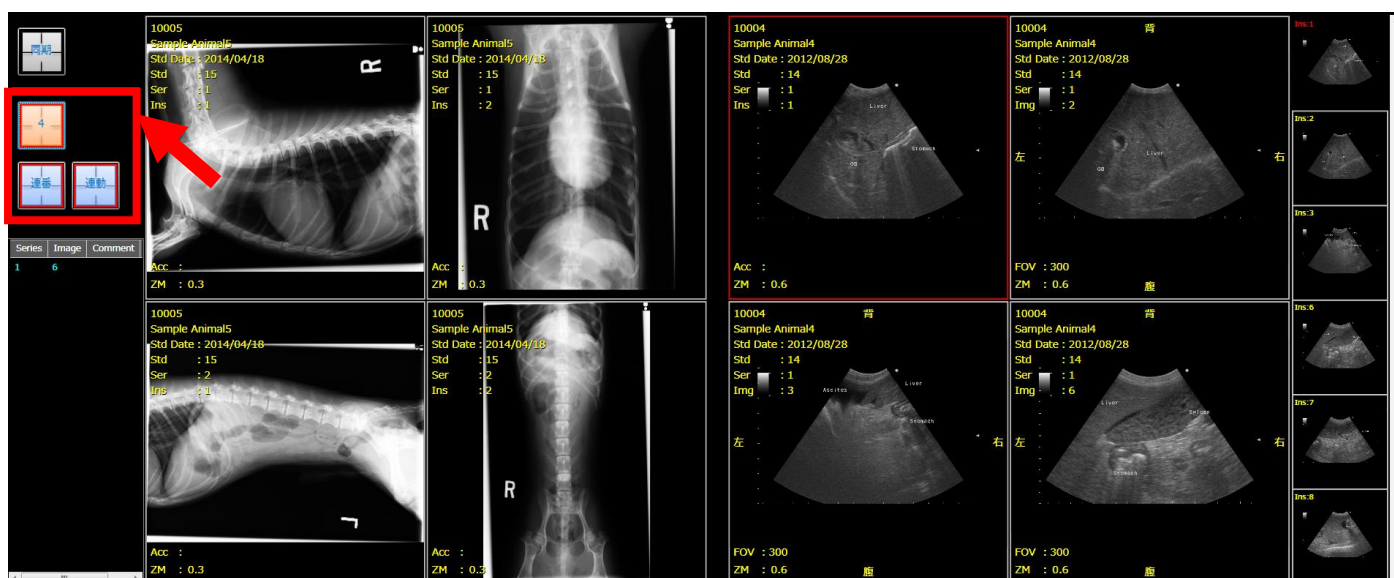
6.5.3. 比較表示の機能



- 送り、ズーム、移動等の画像操作は、各画面に対して個別に行うことができます。操作対象画面は、赤いフレームの画面です。画面フレームの選択、または、「画面 1」「画面 2」ボタンで操作対象画面を切替えます。
- 画面左の「同期」ボタンで同期を ON にすると、一方の画面に対して行った操作が他方の画面にも反映されます。再度「同期」ボタンをクリックすると同期が解除されます。
※Window 値の変更は同期しません。
※位置同期は CT 画像のみの機能です。

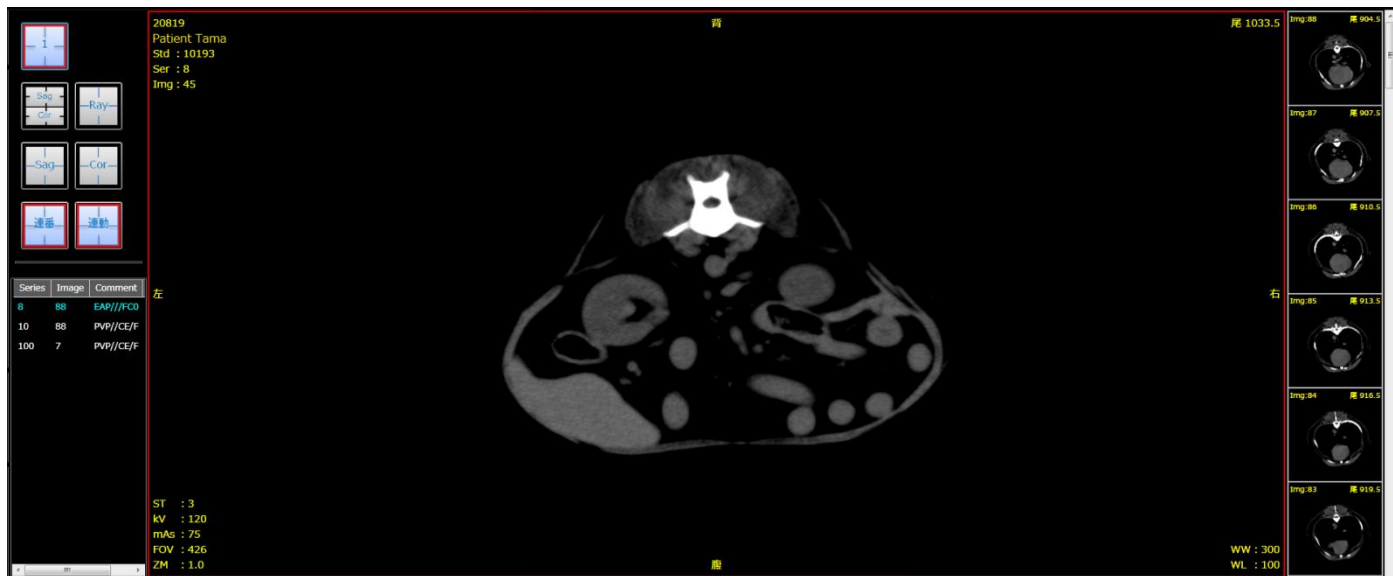
- 各フレームに対して、マルチ表示機能が使用できます。

【比較表示中のマルチイメージ表示例】



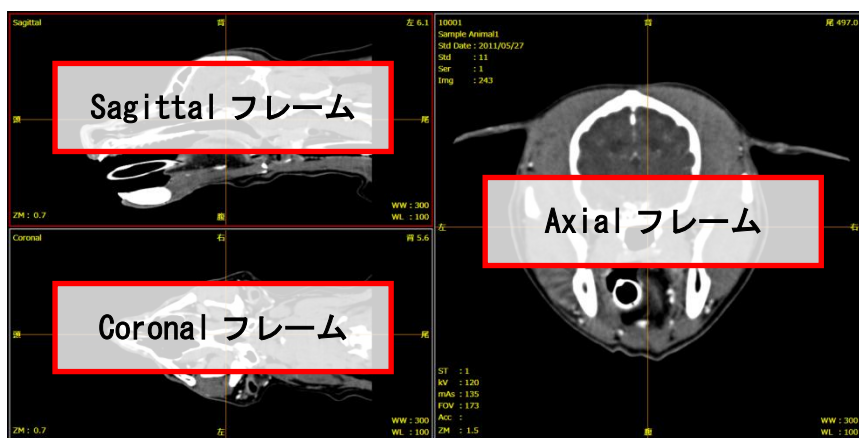
7. CT 画像の機能

CT 画像は以下のように表示され、機能アイコンの[リスト表示]ボタンでリスト表示画面に戻ります。

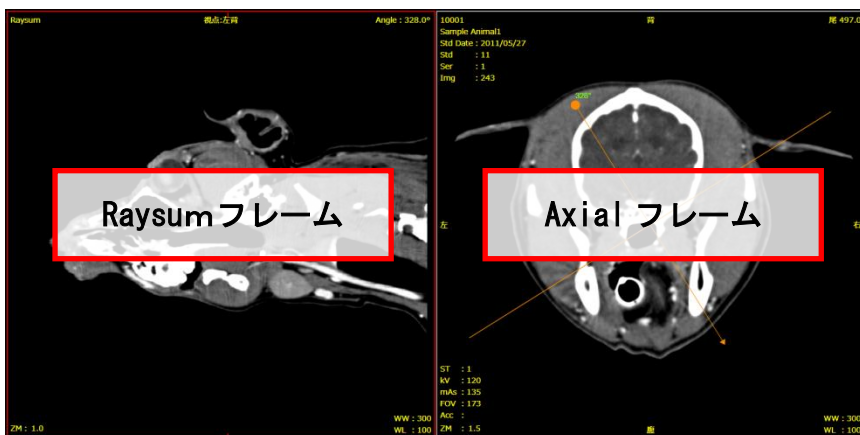


7.1. フレームの名称

各フレームの名称と表示対象断面は以下の通りです。表示の切替え方法は次節に記載されています。

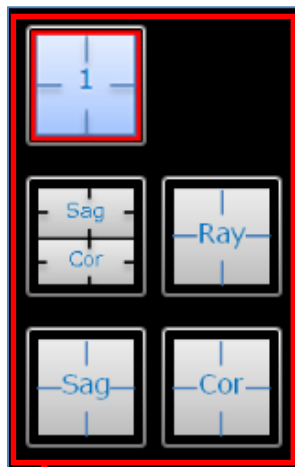


フレーム名	表示対象断面
Axial フレーム	横断面 (Axial 面)
Sagittal フレーム	矢状断面
Coronal フレーム	冠状断面
Raysum フレーム	任意断面



7.1.1. フレームの切替え機能

画面左のボタンメニューから、表示の切替えが可能です。



フレーム切替えボタン

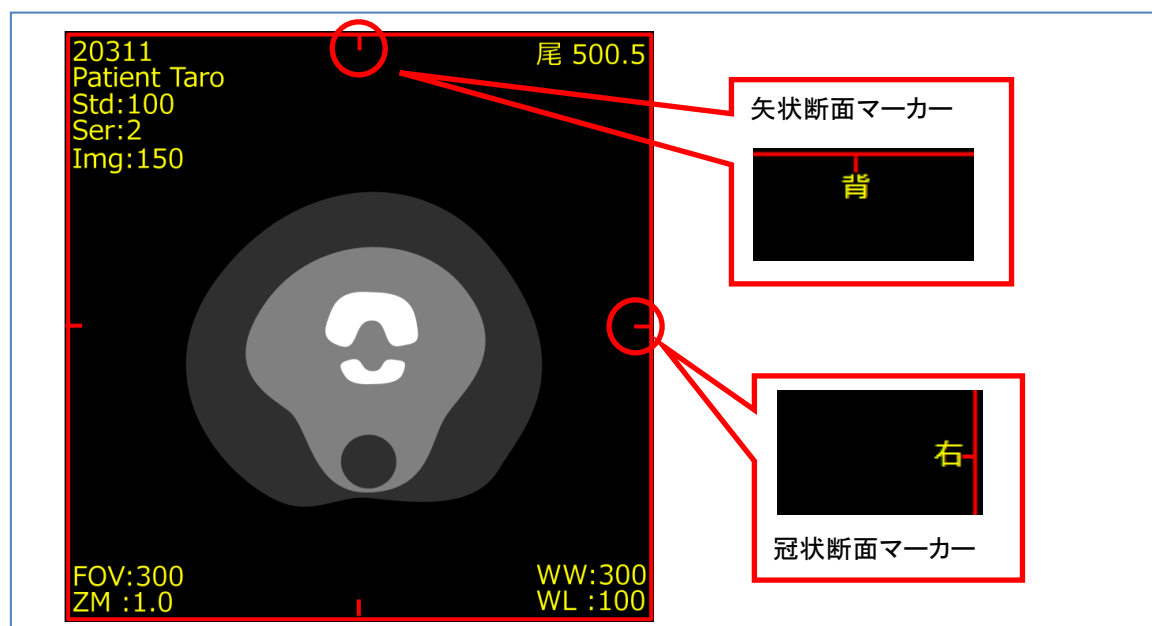
ボタン	機能
Ax	指定のフレーム数で Axial フレームを表示します。
Sag/Cor	矢状断面及び、冠状断面を表示します。ボタンを押すと表示可能なフレーム数がメニュー表示されます。
Ray	任意断面を表示します。ボタンクリックで表示されるメニューの「4 画面」を選択すると、Angle が異なる 4 つの任意断面が表示されます。
Sag	矢状断面を表示します。表示は 1 種類のみです。
Cor	冠状断面を表示します。表示は 1 種類のみです。

7.2. フレーム間の連動機能

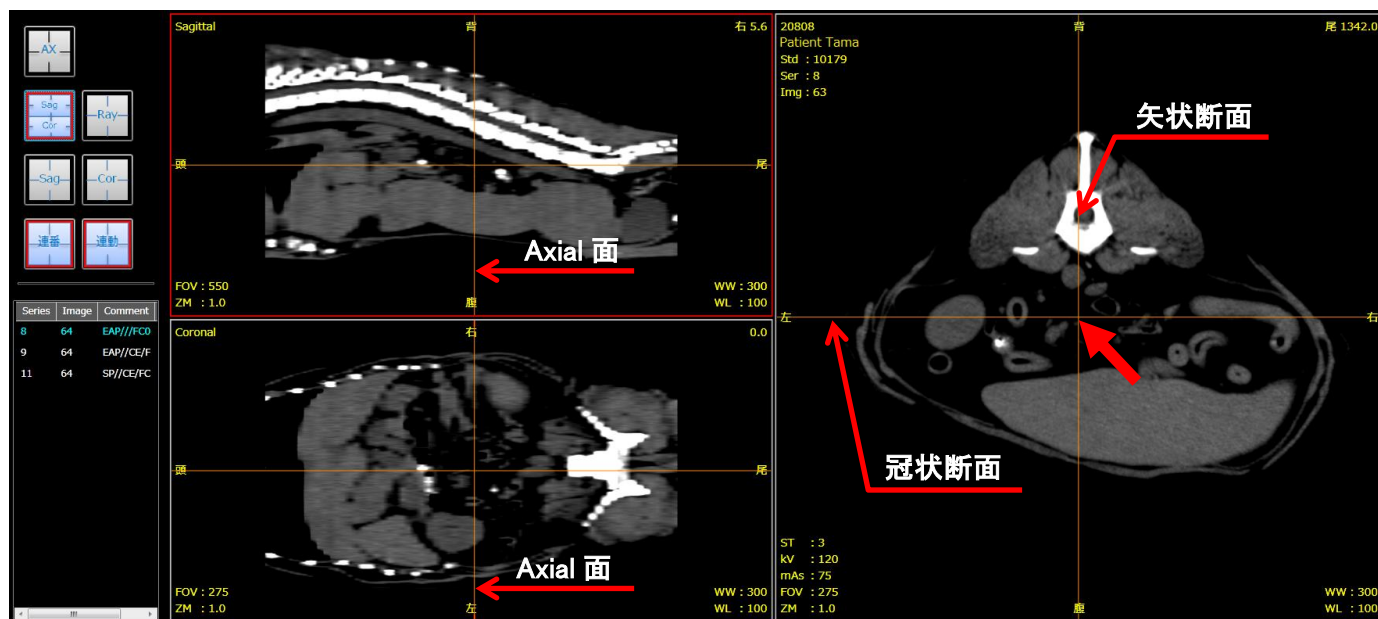
Sagittal/Coronal 画面を表示した場合、各フレームには以下のマーカーが表示されます。

機能名	機能
Axial フレーム	矢状断面を表わすマーカー（各フレームの上下に表示） 冠状断面を表わすマーカー（各フレームの左右に表示）
Sagittal フレーム	Axial 面を表わすマーカー（各フレームの上下に表示）
Coronal フレーム	Axial 面を表わすマーカー（各フレームの上下に表示）
Raysum フレーム	Axial 面を表わすマーカー（任意断面フレームの上下）

【マーカー表示例】

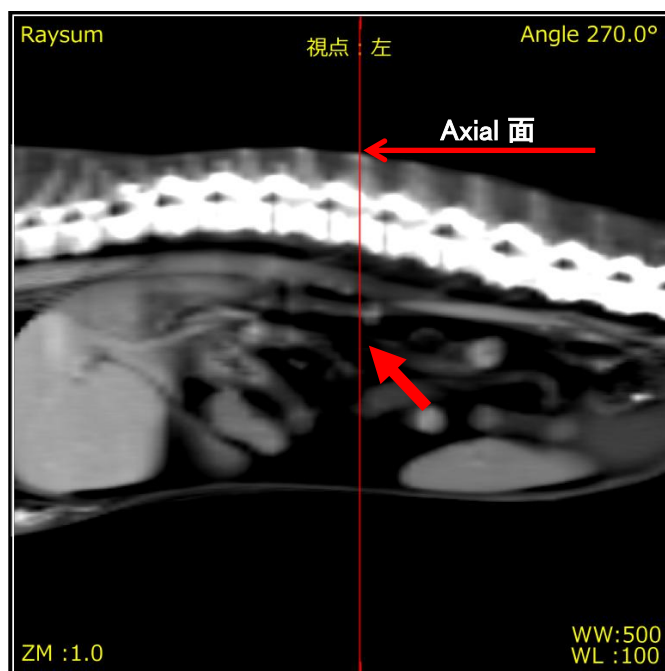


【Sag/Cor 画面のマーカー表示例】



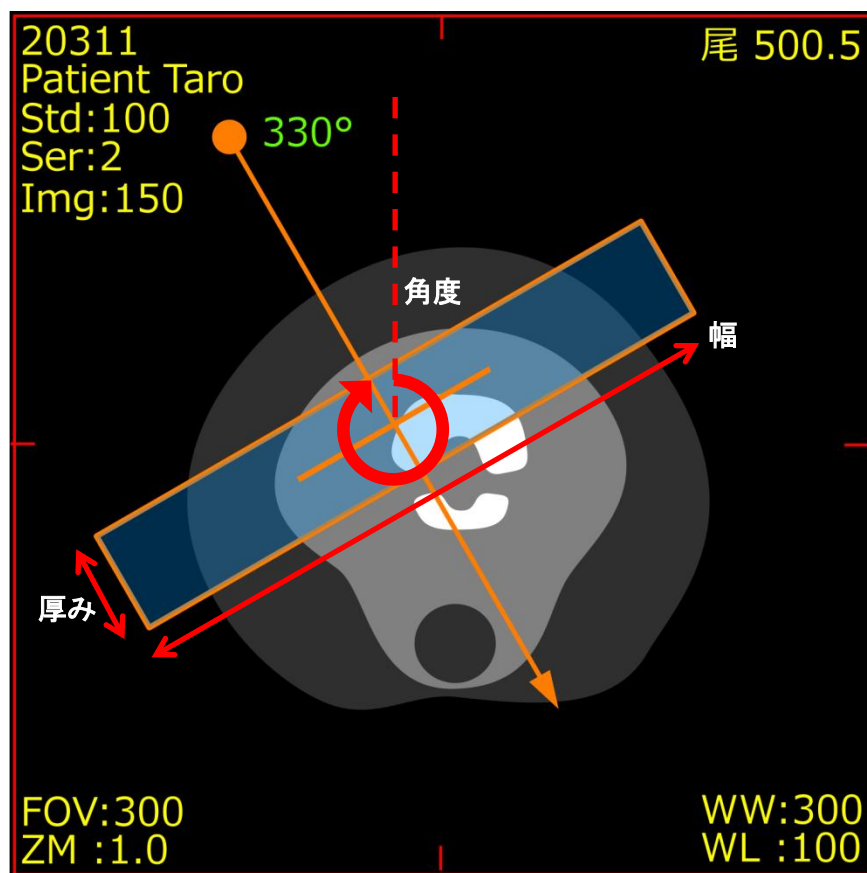
- ① Sagittal フレーム、または、Coronal フレームを選択すると、Sagittal/Coronal/Axial のフレーム上に、各描画断面を表すカーソルが表示されます。Axial フレーム選択時はカーソルが非表示になります。
- ② カーソルにマウスを近づけるとカーソルが赤色に変わります。その場所からマウスドラッグすると、対応するフレーム画像がドラッグと連動して再描画されます。
- ③ 2本のカーソルを同時に動かす場合は、カーソル交点をドラッグするか、マウス左右同時クリックするとクリック点にカーソル交点が移動します。

Raysum フレーム上では、フレームの上下にあるマーカーを結んだ直線状にマウスを移動するとカーソルが表示されます。

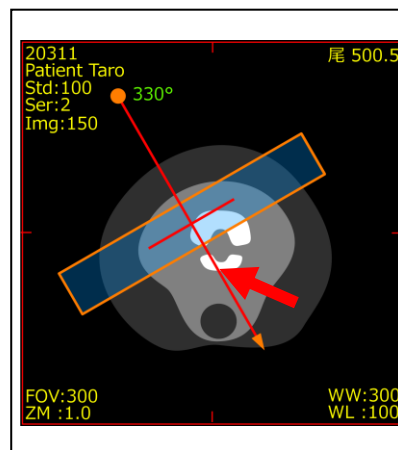


7.3. レイサムハンドル機能

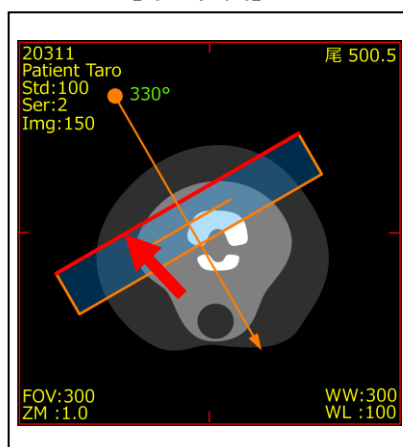
- ① Raysum フレームを選択すると、Axial フレーム上にハンドルが表示されます。
- ② ハンドルをマウスドラッグで操作しながらレイサム画像を調整します。ハンドル操作可能な位置にマウスを移動すると、ハンドルの操作可能部分が赤くなります。



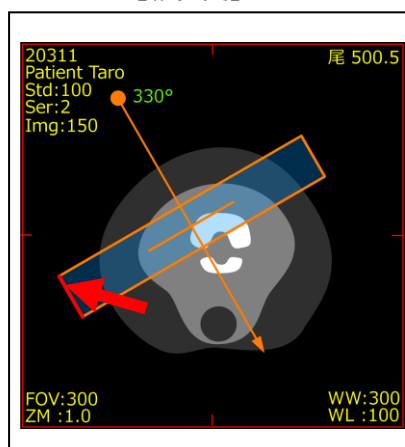
【位置変更】



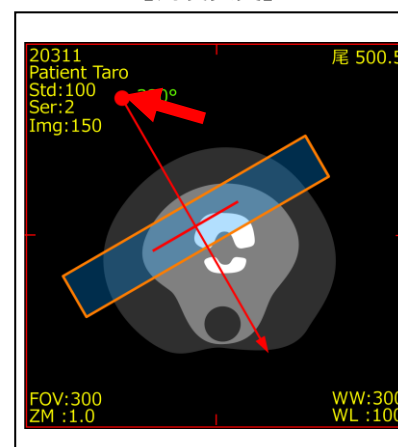
【厚み変更】



【幅変更】



【角度変更】



※アカデミック版では厚み、幅の変更はサポート対象外です。

7.4. 位置同期機能

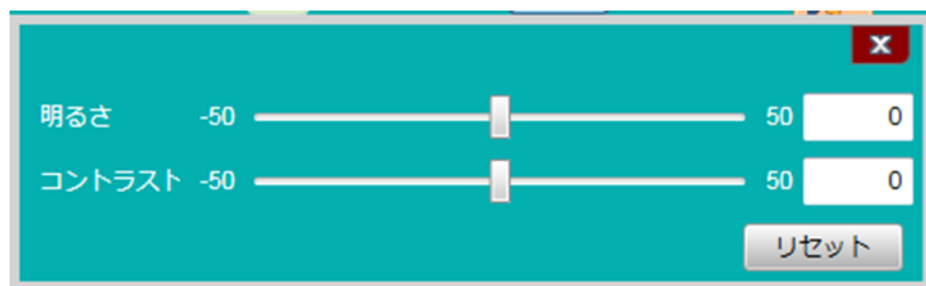
比較表示で、異なるシリーズを表示している場合に限り、画面1と画面2の画像をスライス位置で同期します。



「位置同期」ボタンをクリックすると、「画面1」のスライス位置に合わせて、「画面2」の画像位置を調整します。各画面でマルチイメージ表示中は、「画面1」の最左上フレーム表示中の画像が基準となります。

8. 超音波画像の画像調整機能

超音波画像表示中に、マウス右ドラッグ、または、画面右上の[コントラスト]ボタンをクリックで表示される画像調整パネルで表示画像の明るさとコントラストが調整可能です。

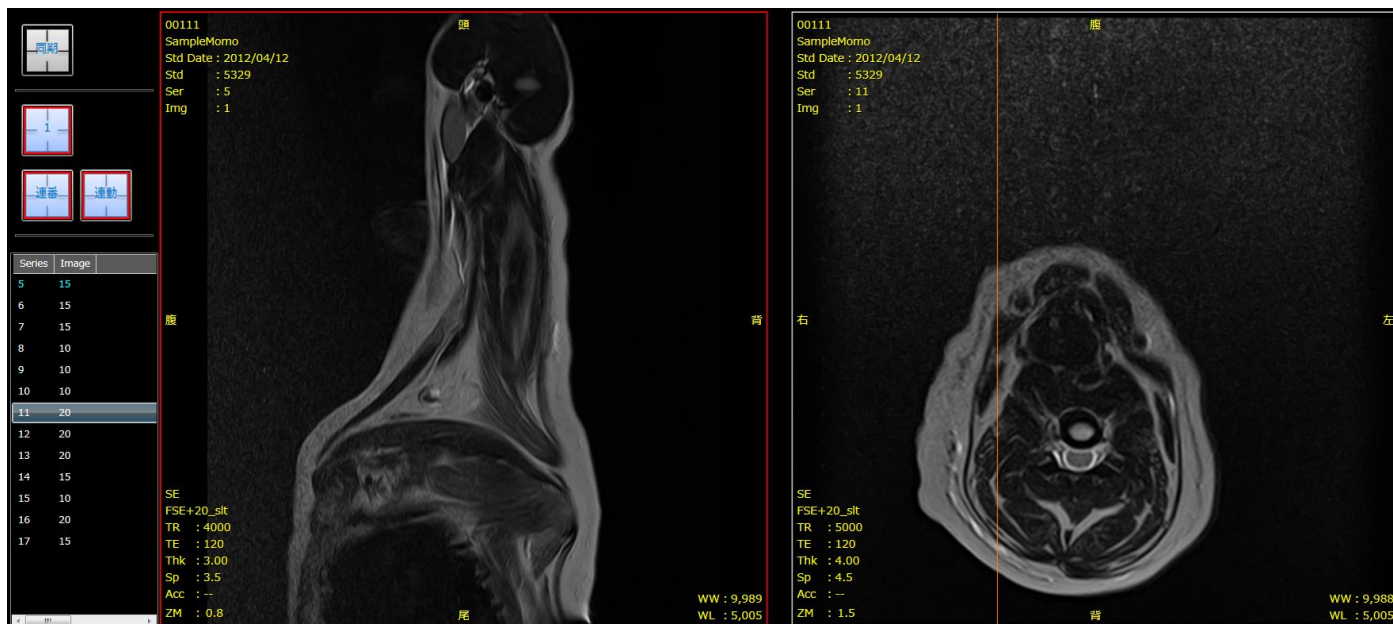


コントラスト

「リセット」ボタンで初期状態に戻ります。

9. MR 画像のリファレンスライン

比較表示した MR 画像では、位置情報が参照可能なデータに対して、リファレンスラインが表示されます。



「定規」メニューから、リファレンス面表示に変更可能です。



10. レポート機能

検査毎に、レポートを作成し、管理します。

10.1. レポートの作成と保存

- ① レポート作成対象の画像を表示し、レポートアイコンをクリックします。



- ② 画面上で情報を入力し、「保存」ボタンをクリックします。作成をキャンセルする場合は「レポート削除」をクリックします。






A screenshot of the 'レポート' (Report) window. The window has a title bar with 'レポート' and a '保存' (Save) button. Below the title bar is a '新規' (New) button. The main area contains a form with fields for '患者名' (Patient Name) 'Sample Animal2', '検査ID' (Exam ID) '12', '作成日' (Creation Date) '2015/02/19', and '時刻' (Time) '22:04'. There is also a '作成者' (Creator) field. Below the form is a large text area for '所見' (Findings). At the bottom of the window is a toolbar with buttons for 'レポート削除' (Delete Report), 'プリント' (Print), '表示倍率' (Display Magnification) set to '100%', 'パレット削除' (Delete Palette), and 'パレット追加' (Add Palette). Callouts point to various features: '移動、サイズ変更が可能です。' (Move, size change is possible.) points to the top of the form; 'レポートを保存します。' (Save report.) points to the '保存' button; '境界をドラッグし、入力欄のサイズ変更が可能です。' (Drag the border, size change of the input field is possible.) points to the border of the '所見' text area; '作成中のレポートをキャンセルします。' (Cancel the report being created.) points to the 'レポート削除' button; and 'レポートをプリントします。' (Print report.) points to the 'プリント' button.

- ③ レポートが保存された検査は、リストのレポート欄にフラグが表示されます。

検査ID	検査名	性別	サブタイプ	検査項目	検査ID	コメント	検査日時	ユーザ
10001	Sample Animal 1	M	CT	11	11	2011/05/27 09:43:20		
10002	Sample Animal 2	M	CT	12	12	2012/03/24 11:20:00		
10003	Sample Animal 3	M	US	13	13	2012/03/28 10:11:16		
10004	Sample Animal 4	M	CR	14	14	2011/01/19 10:10:27		
10005	Sample Patient 5	F	MR	15	15	2012/04/12 18:01:00		

10.2. パレットの機能

パレットの各メニューは下記の通りです。

ボタン	機能
	プルダウンメニューで画像の種類を選択し、選択画像をパレットに貼り付けます。
	パレットにテキストボックスを貼り付けます。
	パレット上にフリーハンドで描画するペンツールです。プルダウンメニューから、ペン色を変更可能です。
	ペン描画の消しゴムツールです。消しゴムのサイズ変更、全消去が選択可能です。
	選択メニューです。選択中の画像やテキストボックスを、移動および削除します。

10.3. レポートの編集

過去のレポートを編集する場合は、保存したレポートをコピーして使用します。

- ① 「新規」タブを選択します。

- ② 「コピー」ボタンを選択し、編集対象の過去レポートを選択します。過去のレポート内容がコピーされますので、編集後、保存します。

- ③ 過去のレポートを削除する場合は、対象レポートを表示し、「レポート削除」ボタンで削除します。

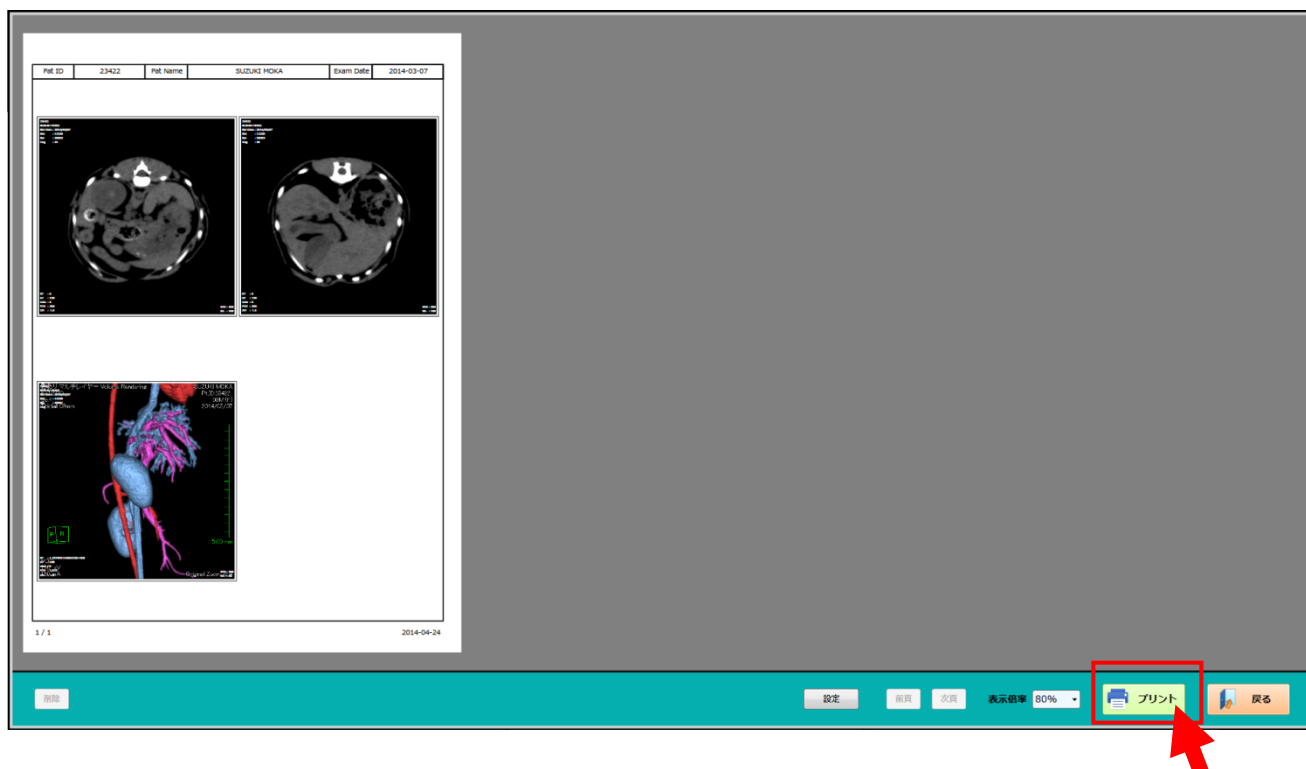
11. プリント機能

- ① 画像表示中に、「Ctrl」キーを押しながら、プリント対象の画像をクリックで選択します。複数回クリックした場合、同一画像がクリック回数分レイアウトされます。



※プリント対象画像には、画像左上に「◎」マークがつきます。

- ② 「プリント」ボタンをクリックし、プレビュー画面を表示します。



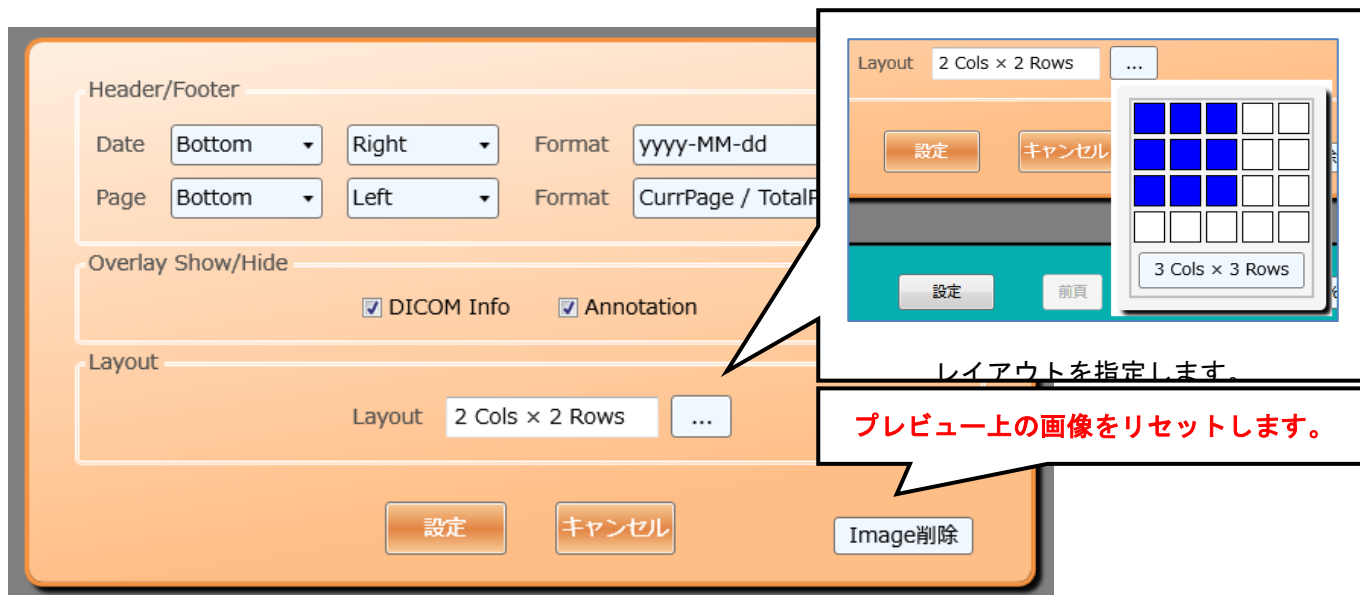
- ③ プレビュー画面で「プリント」をクリックし、プリンターウィンドウを起動します。

11.1. 印刷の設定

- ① 「設定」ボタンから、プリント設定ウィンドウを開きます。



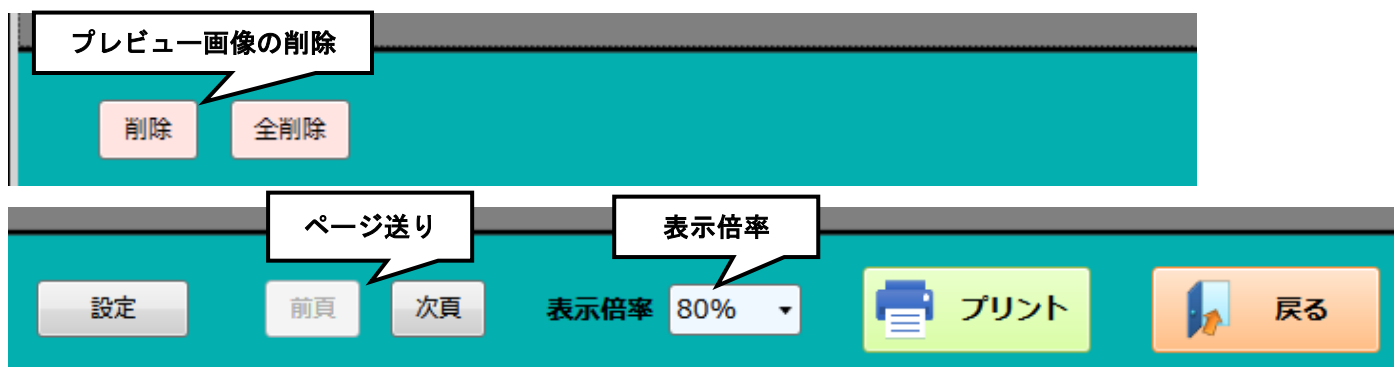
- ② 画面の表示位置、レイアウト等を設定します。「設定」ボタンクリックで、プレビュー画面に設定が適用されます。



※DICOM Info：画像の4隅に表示されるDICOM情報の表示 ON/OFF を切替えます。

※Annotation：計測情報の表示 ON/OFF を切替えます。

11.2. プリント画面の機能



機能名	機能
ページ送り	「前項」および「次項」ボタンで、プレビュー画面のページを送ります。
表示倍率	プレビュー画面の表示倍率を変更します。
プレビュー画像の削除	削除：プレビュー画面上で選択した画像を削除します。

全削除：プレビュー画面上の全ての画像を削除します。

※削除操作では、プレビュー画面からのみ削除します。データベース画像は削除されません。

12. データ管理

12.1. 画像データの登録

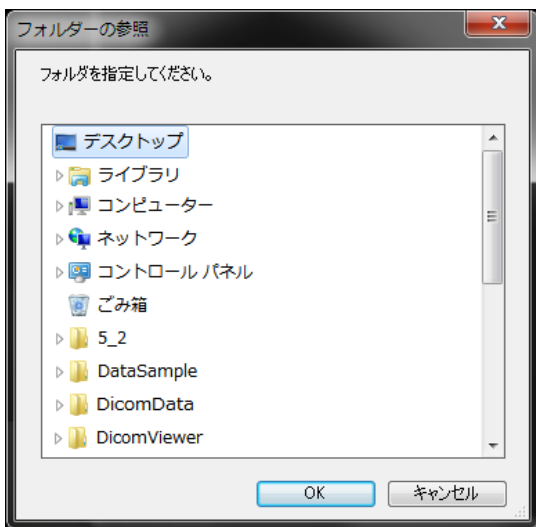
DICOM データを Filo VX データベースにインポートします。

- ① コマンドパネルの「インポート」ボタンをクリックし、メニューからインポートの種類を選択します。

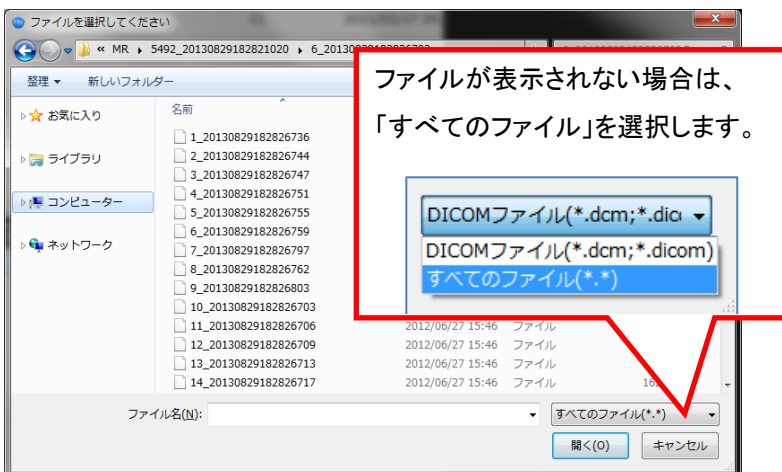


- ② 表示画面上で操作を行い、インポート対象の DICOM ファイルを指定します。

[フォルダ指定の場合]



[ファイル指定/DICOMDIR の場合]



ファイル指定：任意の DICOM 画像ファイルを指定します。
DICOMDIR：DICOMDIR ファイルを指定します。

- ③ 「OK」ボタン、または、「開く」ボタンをクリックし、インポートを開始します。



登録中のデータは削除することはできません。登録が終了し、「登録中」の状態表示が消えるまでお待ちください。

12.2. 画像データの削除



- 削除したデータは元に戻すことができません。
- データ削除は「画面 1」でのみ有効です。

- ① 削除したい Study、または、Series、または、Image をリスト上で選択します。
- ② タイトルバーから、「データ管理」メニューの「データ削除」を選択します。
- ③ 削除したいデータに応じて、Study、または、Series、または、Image を選択します。



- ④ メッセージボックスに従い、処理を完了します。

12.3. 表示の匿名化

ソフトウェアで表示中の患者名、患者 ID 等の情報を匿名化して表示します。

- ① タイトルバーの「データ管理」メニューから、「画面匿名化」を選択します。
- ② メッセージボックスに従い、画面を匿名化します。
- ③ 匿名化を解除する場合は、「データ管理」メニューから「画面匿名化解除」を選択します。



画面の匿名化では、データベースに登録されている DICOM データは匿名化されません。

13. システム情報の確認／編集／プリント

タイトルバーの「システム情報」メニューから、システム情報を確認／編集／プリントできます。



システム情報は、「プリント」ボタンからプリント可能です。プリント設定は起動したプリンタウィザードに従ってください。「戻る」ボタンでメイン画面に戻ります。

※プリントするためには、コンピュータにプリンタのドライバがインストールされている必要があります。

13.1. ソフトウェア情報の確認

「システム情報」→「基本情報」タブでは、システムの基本情報が確認できます。表示項目は以下の通りです。

項目	表示内容
インストール日	システムをインストールした日付
バージョン	システムのバージョン
施設名	施設名

「システム情報」→「ユーザー情報」タブでは、ユーザーのログイン情報が確認できます。

表示項目は以下の通りです。

項目	表示内容
No	システムが認識するユーザー番号
ユーザー名	ユーザーの ID
登録日	ユーザーの登録日
ユーザー権限	登録ユーザーに割り当てられた権限
合計ログイン時間	ユーザーの合計ログイン時間

13.2. 最新のログを確認／プリントする

「システムログ」ボタンをクリックすると、ログページが表示されます。タブで表示を切替えて、複数のログを確認することができます。

選択中のログは、破線で囲まれて表示されます。タブを切替えることにより囲み線が移動し、プリント機能を起動した場合は選択中のログがプリントされます。

「リロード」ボタンで最新のログが表示されます。

14. 設定変更

タイトルバーの「設定」メニューから、各種操作設定を行うことができます。



「ユーザー設定」ページ内の値を編集し、変更してください。「デフォルトに戻す」ボタンでデフォルト設定に戻ります。変更した値は、プロパティページ終了時に自動で保存されます。

14.1. Window 値のプリセット変更

レイサムパネルに表示する動物名を、テキストボックスに入力します。各動物名の下にあるラジオボタンでプリセット設定エリアが切替わります。

レイサム			Axial/Sagittal/Coronal		
タイトル	幅(WW)	レベル(WL)	タイトル	幅(WW)	レベル(WL)
脳_0	80	20	脳_0	80	20
肺_0	1000	-700	肺_0	1000	-700
縦隔_0	500	35	縦隔_0	500	35
腹部_0	300	40	腹部_0	300	40
脊髄_0	350	40	脊髄_0	350	40
骨_0	1500	200	骨_0	1500	200
デフォルト_0	2000	50	デフォルト_0	100	400

レイサムパネル用のプリセット、及び、Axial/Sagittal/Coronal 用のプリセットをそれぞれ設定します。

14.2. その他の設定変更

各項目の設定内容は以下の通りです。

項目	内容
ズーム設定 x	ズームボタンに表示される表示倍率を設定します。0.1 倍から 9.9 倍の範囲で設定してください。
シネ速度設定	シネボタンに表示される再生速度を設定します。 フレームは 1 フレーム/秒から 40 フレーム/秒の範囲で設定してください。 角度は 1 度/秒から 90 度/秒の範囲で設定してください。
画像送り設定	画像送り、または、戻しボタンでの送り枚数、または、角度を設定します。
矢印キーの設定	キーボードの矢印キーの動作を設定します。
マウス操作	マウスの左右ボタン、及び、マウスホイールの動作を設定します。

株式会社 スペック・システム

〒 211-0002

神奈川県川崎市中原区上丸子山王町 2-1326

藤光ビル 2 階

電話 : 044-750-0151 (代表)